

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
文学作品中の富士山		第2章4・P. 23	
教科（領域）等	国語科（読むこと、伝統的な言語文化）	学年（分野）	全学年



### 1. 教材のねらいと概要

「富士山」は、様々なジャンル文学に取り入れられている題材である。生徒になじみの深い「竹取物語」などの文学作品はもちろんのこと、和歌などの韻文にも読まれている。ここに示しているのは、一部であるが、時代を超えて愛され続ける「富士山」から、様々な文学作品に触れ、興味関心をもつきっかけとしたい。「富士」に関する記述があり、山梨県関連の作品を中心に年代別に示している。

### 2. 活用例

教科名等	国語	単元(題材)名等	読書指導等	時間
活用場面		活用のポイント		時間
富士山がどのような存在であったか考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な年代やジャンルの作品に取り上げられている富士山が、どのように捉えられているか知る。</li> <li>・学校図書館活用のテーマ例としても扱うことができる。</li> </ul>			10分
教科名等	国語（伝統的な言語文化）	単元(題材)名等	古典「竹取物語」	時間
活用場面		活用のポイント		時間
富士山がどのような存在であったか考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本最古の物語文学と言われる「竹取物語」の最後の場面で登場する。富士山の名前の由来などにも触れることもできる。</li> </ul>			10分

### 3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
p. 23 	さまざまな時代にさまざまな作家が、富士山を取り上げていますね。	・作品の時代とジャンルについて触れさせたい。	「4. 写真・資料の補説」を参照
p. 23 	どのような場面で、富士山が登場するのか、作品を読んでみましょう。	・学校図書館等を利用して、読書活動の推進につなげたい。	

### 4. 写真・資料の補説

	引用文	時代	ジャンル	作者	出典
1	その山を富士の山とは名付けける	不詳（平安）	物語	不詳	竹取物語
2	富士の山を見れば	平安	物語	不詳	伊勢物語
3	夏の富士いまだ装いを更めず	江戸	小説	滝沢馬琴	南総里見八犬伝 1814
4	西南にそびゆる白妙の富士の嶺は	明治	小説	樋口一葉	ゆく雲 1895
5	三四郎は富士山の事をまるで忘れていた	明治	小説	夏目漱石	三四郎 1906
6	富士には月見草がよく似合ふ	昭和	小説	太宰治	富岳百景 1939
7	昭和7年の夏、富士山頂は	昭和	小説	新田次郎	強力伝 1959
8	かたわらに富士山の気配を感じ	平成	随筆	辻村深月	図書室で暮らしたい 2015
9	不尽（ふじ）の高嶺は	奈良	和歌	高橋虫麻呂	万葉集
10	富士の嶺の 燃ゆる思ひも	平安	和歌	紀貫之	古今和歌集
11	富士の煙の春のいろの	鎌倉	和歌	前大僧正慈円	新古今和歌集
12	目にかかる時やことさら五月富士	江戸	俳諧	松尾芭蕉	芭蕉句集 1689
13	足立たば不尽の高嶺のただきを	明治	俳句	正岡子規	竹乃里歌 1904
14	抜き出でて高き富士の白砂	大正	短歌	若山牧水	溪谷集 1918
15	初富士や樹海の雲に青嵐（もろがへり）	昭和	俳句	飯田蛇笏	心象 1947
16	強霜の富士や力を裾までも	昭和	俳句	飯田龍太	百戸の谿 1954
17	不二が笑っている	昭和	短歌	山崎方代	迦葉 1985

### 5. 参考文献・関連施設等

参考文献名	発行所	著者・編者	発行年
上記参照			
関連施設名	住所	電話	
山梨県立文学館	〒400-0065 山梨県甲府市貢川1-5-35	055-235-8080	
参考ホームページ			
山梨県立文学館	「山梨・文学館」	>	山梨県立文学館 > 教育プログラム